

三木市チーム 兵庫県代表として 全国青年大会に出場

平成30年11月9、10、11日、東京都の東京武道館で行われた第67回全国青年大会に兵庫県代表として我が三木市チーム（監督 松本克基 錬士六段）を筆頭に、先鋒低田 優（四段）、次鋒板垣 諒（四段）、中堅川人 優亮（三段）、副将山口直輝（五段）、大将西本英一郎（五段）が出場した。全国青年大会は、各都道府県の若者たちが日頃取り組んでいるスポーツや文化活動の発表の場として、各都道府県の代表約2,000名の若者が東京に集まり、参加者一人ひとりが日頃の成果を競い合い、連帯や友情を深めあう大会。大会の特徴は、一部の種目をのぞき、国体や国際競技大会などに参加した経験のある人には参加資格がなく、普段は働きながらも、地域で地道にスポーツや文化活動に携わっている若者たちに参加資格があるというところだ。

10日に行われた団体戦は、試合時間が5分、引分けはなく、延長時間は勝負がつくまで無制限で勝者数のみを争ういわゆる「ガチ勝負」の形式。

三木市チームの兵庫県は一回戦で山形県と対戦。やや緊張感を感じる中、先鋒低田粘って延長の末一本勝ち、次鋒板垣の相手は上段、膠着状態からメンを決め一本勝ち。中堅川人は開始早々コテを決めそのまま逃げ切



り、前3人で勝負を決めた。対戦相手のレベルが明らかに上がった副将戦。山口はほぼ瞬殺の二本負け。大将西本も全く歯が立たず二本負けを喫するも、チームとしては初勝利を得て二回

戦に進出した。各コートの試合内容を見て皆レベルの高さを肌で感じ始めた様子だ。

二回戦は対静岡県。この試合では先鋒から副将まで圧倒的な力の差で敗れたものの、大将西本が最後に意地を見せて一本勝ち。しかしチームは敗戦で、この日はここで終了となった。



翌11日は個人戦で、結果は山口、西本、板垣が一回戦敗退、川人が三回戦まで進出したが敗退という結果だった。

どの県も刑務官、警察官中心のチームが目立ったが、特に神奈川県、東京、愛知、大分は強かった。近畿地方からの参加は兵庫と奈良の2県のみだった。

全国青年大会を終えて

監督 松本 克基
このたび、僭越ながら全国青年大会の監督として三木市剣道連盟を率いて東京まで行ってきました。監督、選手が想像していた以上にレベルが高く驚きました。また三

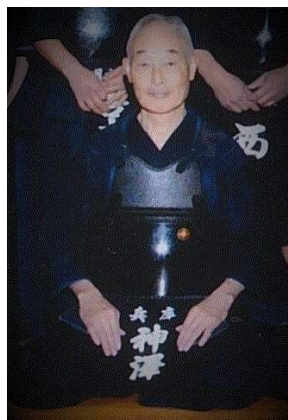
木市剣道連盟の若手選手たちにはとてもいい刺激になったと思います。試合では団体で山形県に勝利できましたが、各県代表とのレベルの差は歴然でまだまだ稽古を積みまなければならないと感じ、選手たちと帰りの新幹線で話題は尽き



健闘した兵庫県代表監督・選手たち

ませんでした。兵庫県代表として東京まで行けたこと、また盛大な開会式に参加したこと、全国大会という味わえない緊張感を感じたことは各選手、また私にも貴重な経験になりました。この経験を今後の三木市剣道連盟の発展に生かしていきたいと思えます。最後に、大会参加に際し、多くの方々に寄付、カンパをいただきましてありがとうございます。

平成三十一年新年を迎えて 三木市剣道連盟会長 神澤正輝



体1チームが参加しました。全国大会に参加した選手たちは非常に良い経験になったと思います。

会員の皆様におかれましては、お元気で新年を迎えられたことと、お喜び申し上げます。いつも連盟行事に参加いただき、ありがとうございます。

昨年は、小林統一、小紫達矢、石田隆の各先生が六段に合格されました。受審にあたって稽古を十分に積まれ、平素より心構えを研究された結果がでたと思います。心よりお祝いを申し上げます。また11月10日、11日に東京武道館で行なわれました、全国青年大会に、兵庫県代表として、松本克基監督以下男子団

毎年新年にあたり目標を立て、一年それに向かって努力をしようという提案させていただきましたが、みなさんはいかががでしたか？私は『会員全員と稽古をする。』と宣言しました。しかし、竹刀を交えた人数は50%しかできませんでした。今年も同じ目標に挑戦します。くしくも総合体育館内の体育室を土曜日11時より12時30分を定期的に使用できることになりました。みなさんにもぜひ参加していただき目標達成に協力をお願いいたします。ところで、何故剣道を続けていますか？というアンケートがあり、その答えの中に、『相手を尊重する「礼」の精神や、諦めずにコツコツ努力する精神が多くの剣士に受け入れられ実践されている。』また、『日本古来の

文化には非効率なものや、変えていかなければいけないことも多くある。しかし、相手を思い遣る「礼」の精神や、謙虚さ、努力を励ます文化は本当に素敵だと思う。』と、ありました。剣道を修業することで、自然に礼儀作法が身に付き、強い心と、相手を思い遣る優しい心を会得することができ、良さを、伝承することこそ我らの使命だと思います。そういう気持ちをもって子供たちの指導にあたっていたきたいと思います。

今年の8月には東播地区親善剣道大会を三木市において開催する予定です。新しい総合体育館を参加者の皆さんに披露する機会です。盛会に開催出来まします。また親善の輪が大きく広がりますようご協力をお願いいたします。連盟各部においては、成熟期にあります。活動においては変化があっても良いと思います。次の一手を期待いたします。どうか今年もよろしくお願いたします。

平成三十一年一月

平成最後の稽古始め に126人が参加

平成31年1月6日、9時から三木市剣道連盟の稽古始め会が三木市民体育館で開かれ子供から大人まで126人が参加した。開会行事の後、各少年剣道教室の代表による「木刀による剣道基本技稽古法」の演武が行われ、引き続き、日本剣道形の演武が、打太刀澤田薫錬士六段、仕太刀小林統一六段の二人によって行われた。

その後、小学生の稽古、中高一般の会員による稽古と続き、



澤田薫錬士六段、小林統一六段による日本剣道形演武

12時前に終了した。今年初の稽古とあって、参加者は気合十分、新たな目標に向かって良いスタートを切った。